

大原 功 議員 無会派

## 国保税算定の資産税割を見直す考えはあるか

問

- (1) 本市の国民健康保険の加入者は。
- (2) 本市の国民健康保険税の滞納者は。
- (3) 本市の国民健康保険税の滞納額が2億6千万円と聞かす間違いないか。
- (4) 滞納することで診察はどのようになるのか。
- (5) 国民健康保険事業は一般会計からの繰入金も含め運営している。
- 社会保険を納める者は、一般会計から国保に繰り入れられると、保険の二重払いをしているような気がする。
- 滞納があっても受診できる点をどのように考えているか。
- (6) 国民健康保険税を課税するに均等割・所得割・資

産割で決定されるが、所得割は8.1%、資産割は23%と資産割が高過ぎると考える。固定資産税を減額する考えはあるか。

現段階では現状のままでいきたい

答 民生部長

- (1) 28年1月末時点で、世帯数が5千991世帯、被保険者数が1万767名である。
- (2) 26年度以前の対象にした人数、過年度分は872世帯である。
- (3) 過年度分の総額で2億6千万円である。
- 答 保険年金課長
- (4) 6カ月間を区切りとして短期給付保険証を発行している。
- 次の証の切り替え時に納税相談なども含め随時して

いる。

答 市長

- (5) 国保運営は、一般会計から28年度当初予算でも1億2千万円を繰り入れ、市民の健康に対し取り組みなければならぬ事情はあるものの、税の公平性の観点から等しく納めていただきたい。
- 滞納に対し愛知県西尾張

地方税滞納整理機構を通じて納税していただく努力をしている。

一方で、滞納せざるを得ない事情に対し、意見などを聞き、納税を継続していくことをお願いしている。

(6) それぞれの要因に基づいたベースをつくり国保税をお願している。

今のところ保険料は、現状のまましていきたい。

保育所、小・中学校に導入する救命胴衣の配備の市長の考えは

問

本市の地理的条件を考えると救命胴衣が必要であると考えます。

ようになる。

また、南部地区や十四山地区に大企業も進出し固定資産税の税収が伸びること、国保税の資産割を減額することも可能と考える。

本市の道路には、両側にのり面があり柵板の設置や擁壁を施工することで道路拡幅が可能となり緊急車両も通行可能と考えるが、のり面を活用した拡幅の考えはあるか。

28年度佐古木地区をはじめ5地区の整備を計画している

答 市長

基幹道路、都市計画道路も含め、道路はまちづくりの生命線とされている。

現在のり面としている箇所幅員を活用して歩道なども含めた安全対策を講じていかなければならないと考える。

28年度は佐古木地区をはじめ楽平、鯛浦、操出、稲狐の5地区を順次整備を行う計画である。

道路のり面を活用した道路整備をする考えは

問

道路整備をすることで本市に住む1万2千人近くの高齢者に何かあったとき緊急車両が1秒でも早く行ける

予算もあり苦慮するが子どもたちの安全を考えていきたい

答 市長

28年度予算は、南部地区と東部地区の小・中学校、保育所への導入をしていく。本市全域、海拔ゼロメートル、マイナスであり、全ての地区が危険地域であると思っている。日の出・桜小学校区は、予算編成していないが子どもたちの安全を考えていきたい。